

令和5年10月6日
国土交通省関東地方整備局
高崎河川国道事務所

工事発注手続きについて

～「R4角淵樋管ゲート設備更新工事」の発注手続きを行います～

高崎河川国道事務所が発注する「R4角淵樋管ゲート設備更新工事」において、不調・不落対策等を試行、採用します。

工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について、不調・不落対策等を試行、採用しています。

今回発注する「R4角淵樋管ゲート設備更新工事」については、以下のとおり不調・不落対策等を試行、採用します。

【不調・不落対策等】

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式） 企業実績評価型
2. 競争参加資格の緩和
3. 難工事指定
4. 世界的な半導体不足による工期延期等
5. 配置予定技術者の専任を要しない期間
6. 見積活用方式

※詳細は次頁をご覧ください。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 刀水クラブ・テレビ記者会 高崎記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 高崎河川国道事務所

電話：027-345-6000（代表） FAX：027-345-6085

副所長 土屋 秋男（つちや あきお）（内線：206）

防災課 課長 久保田 健一（くぼた けんいち）（内線：281）

《工事概要》

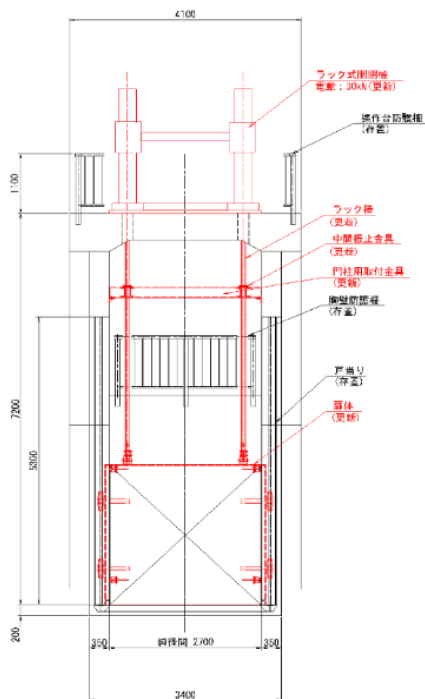
- (1) 工 事 名：R 4 角淵樋管ゲート設備更新工事
- (2) 工事場所：群馬県佐波郡玉村町角淵地先
- (3) 工 期：契約の翌日から令和 6 年 3 月 29 日まで
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型
- (5) 工事種別：機械設備工事
- (6) 工事内容（概要）：ゲート設備更新

- ・扉体更新 1 門
- ・開閉装置更新 1 門分
- ・附属設備更新 1 基分
- ・商用電源工 1 式

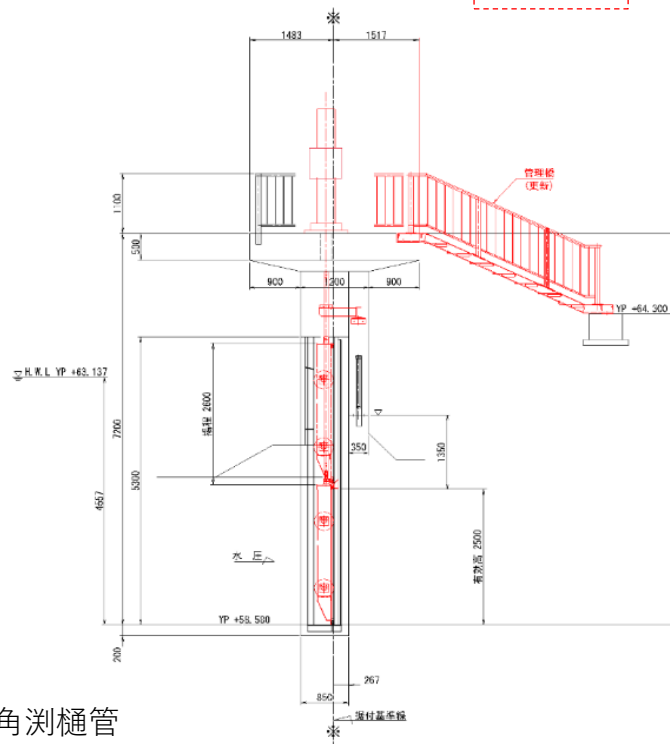
■工事概要図



正面図



側面図



角淵樋管

《不調・不落対策等》

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、試行するものです。特徴は次のとおりです。なお、公共工事の実績のない企業でも参加しやすい方式となっています。

1) 競争参加時に配置予定技術者の申請は不要です。

（参加要件として配置予定技術者の工事経験の設定はありません。）

2) 総合評価における加算点の評価対象は、企業における防災に係る取組姿勢、同種工事の施工実績、本発注工事に対応する工事種別の手持ち工事量及び賃上げの実施を加算点としています。

3) 過去の工事成績や表彰実績、配置予定技術者の技術力は評価対象としません。

2. 競争参加資格の緩和

1) 企業に求める施工実績の緩和

企業に求める施工実績を「河川用ゲート設備工事」に限定せず、「河川又はダム用ゲート設備工事を施工した実績」として緩和をします。

3. 難工事指定

本工事は、堤防天端の狭隘なサイクリングロード上での作業となりますが、クレーン設置のスペースが不足することから、堤防法面に仮設材を設置してスペースを確保する必要があるなど作業ヤードの制約があり、厳しい安全管理が必要であるため、「難工事」の指定を実施します。

「難工事」指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。なお、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間で評価対象となります。

4. 世界的な半導体不足による工期延期等

本工事は、半導体不足の影響で機器等の納期遅延により、工期内に工事が完成出来ない等、工期の延長が必要な場合には、工事の一時中止等の適切な措置を行い工期の延長を実施します。

5. 配置予定技術者の専任を要しない期間

本工事は、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任（監理）技術者の専任を要しないものです。

6. 見積活用方式

1) 見積の提出を求める工種

直接工事費における工種「小形水門製作」のうち、種別「水門設備」の細別「扉体（小形水門）（新設）」、種別「附属設備」の細別「管理橋（新設）」

直接工事費における工種「小形水門設備据付」のうち、種別「小形水門据付工」の細別「据付（小形水門）（新設扉体）」、細別「据付（小形水門）（新設開閉装置）」

2) 見積の提出を求める理由

本工事は、小形水門1門・管理橋1基の製作・据付を行うもので、施工量が少量で、更に据付においては狭隘な現道上で交通規制を実施しながらの施工となることから、製作・据付共に作業効率の低下が懸念されます。

そのため、公共土木工事積算基準に基づく価格と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

《スケジュール》

- | | |
|------------------|-------------------|
| ○入札公告、入札説明書交付 | : 令和 5年10月 6日 (金) |
| ○技術資料等の提出期限 | : 令和 5年10月23日 (月) |
| ○入札書・工事費内訳書の提出期限 | : 令和 5年11月20日 (月) |
| ○開札日 | : 令和 5年11月24日 (金) |

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式・企業実績評価型)の試行について

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **総合評価落札方式・企業実績評価型**
→企業における防災に係る取組姿勢と施工実績等を評価

